

附属学校運営委員会

委員長：学長
構成員：
 附属学校担当副学長、事務局長、校園長等
活動内容：
 毎月附属学校の運営に関することを審議・決定しガバナンス確立
 R4年度 学則の大幅改訂

学校運営協議会制度

開始：R5年度から
構成員：学識経験者、県・加東市指導主事、附属3校園保護者代表、3校園長
活動内容：
 学校運営の基本的方針の承認、学校関係者評価等

令和6年度兵庫教育大学附属中学校経営計画と評価

学校教育目標

STEAM教育の理念

附属中学校の学校像

平和で人間らしさが追求できるより良い社会の実現のために、物を多角的多面的に理解し、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動することで、社会の変化と持続可能性をもたらす新しい価値を「共創」できる市民の育成をめざす

探究総合

Agency

第三者評価委員会

自己評価及び学校関係者評価を評価する

学校運営方針

- I これからの学校教育の在り方を生徒と教員が、共に探究し続ける学校
- II 自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動するAgencyの育成
- III 生徒も教師も“学び続ける”探究学習の実現

令和6年度重点目標・具体的な取組・達成状況

生徒の実態

- 向上心が強く、優しい
- ICT機器を意欲的に活用できる
- 困りごとの相談が苦手

附属学校園のミッション・ビジョン

ミッション

- 大学と一体となった先進的な教育実践研究の推進
- 新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施
- 地域のモデル校としての役割遂行

ビジョン

- 学校像
12年間を通して地域と連携し、一人一人の子どもの学びと成長が保障される創造性豊かな学校
- 子ども像
情報活用能力や知的創造力と寛容性を兼ね備えた、グローバル社会で活躍できる人間
- 教員像
互いに敬意をもって高め合い、働き方改革を踏まえ、先進的で優れた教育実践に取り組み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる教員

気持ちの揃った
校内組織・教師集団

ステークホルダーとの
信頼関係強化

安全・安心な学校づくり

附属学校としての新しい文化の創造

重点目標	①的確なガバナンスによる学校運営 ②積極的・意欲的で一体感のある教職員集団の構築 ③教員の指導と学力実態把握改善	①大学との共同研究の取組 ②学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール） ③新しい人事交流先との協定締結と計画的な拡大	①いじめ未然防止、早期対応の徹底 ②学校事故の未然防止対策 ③授業規律、生活規律等の検討統一 ④長欠生徒への適切な対応、相談・支援体制確立 ⑤感染症等の適切な対応 ⑥校舎改良工事に係る安全確保	①働き方改革の推進 ②校種間連携の推進 ③カリキュラムマネジメント推進 ④公正が確保された教科書採択 ⑤「教員養成の知の拠点化」推進 ⑥実地教育の改善充実 ⑦異文化理解、国際理解教育推進 ⑧入試制度改善、ミドルリーダーの成長
具体的な取組と評価	達成状況 3（達成） ①学則に則った学校運営と理念浸透 ・学校だより（毎月） ・校長通信（適時） 達成状況 3（達成） ②人事評価制度の適切な活用 教職員それぞれが責任を果たす体制づくり 人間関係肯定的評価； R5年度より13%↑ 困った時管理職に相談6%↑ ③指導状況の自己分析 全国学力・学習状況調査 平均正答率；国語62(58.4)、数学57(53.0)でない年全国平均以上 学習指導の肯定的評価 教員81% 保護者83% 生徒93%	達成状況 3（達成） ①大学との共同研究 森山教授・永田教授の指導助言を受けて研究を推進し、STEAM教育を共通テーマに小中学校合同研究発表会を実施（1/25） ②学校運営協議会は3回開催。 合同部活動はサッカー部、研究大会参加者数は昨年比ほぼ倍増（104名） ③新しい人事交流先を開拓できなかったが、自治体から新たな派遣があった。自治体訪問の効果は大きい 養護教諭の採用にあたっては、地元加東市との協議もできた	達成状況 3（達成） ①いじめの未然防止、早期対応の徹底のために、記名アンケートと無記名アンケートも実施 取組肯定的評価 教員86%保護者85%生徒76% ②ケガによる保健室来室生徒数 R5年度599件 R6年度207件(2学期末)でケガによる来室数は激減、一方精神的要因と思われる過呼吸等の呼吸困難が増加 ③特に別室の対応・体制については改善に努めた。 ④不登校状況の把握、個別の支援計画の作成状況等新たに設置された附属学校教育相談室の運用が効果を上げ始めている。新たなSSWも十分機能した。相談しやすい肯定的評価 教員91% 保護者86% 生徒73% ⑤大学及び学校医と円滑に連携できた ⑥校舎改良工事は特に大きな事故もなく予定通り進んだ	達成状況 4（予定以上） ①研修会等による意識改革、総務主任の新設による計画的な学校運営、ノ一残業デーの推進 ②県の学校安全事業や小中合同研究発表大会の取組による連携促進 研究大会参加者数ほぼ倍増（中学校104名） 達成状況 3（達成） ③厳格管理で標準時間数達成、STEAM教育の推進ができた 達成状況 4（予定以上） ④適正かつ公正に調査及び採択を実施、結果をHP上に公表 達成状況 3（達成） ⑤市教委や学校の研修会講師となる事を推進した ⑥実地教育後において志望が強くなった学生の割合71.4% 達成状況 3（達成） ⑦派遣；フィンランド児童生徒、台湾教員、オーストラリア職員 グローバル人材の育成について肯定的評価 教員41% 保護者73% 生徒75% 達成状況 3（達成） ⑧入試科目の変更、面接方法の見直し等抜本的な改革を実施 管理職等で地元へ赴任する教員の増加